

いまよりの風

令和5年（2023年）10月20日発行

学校通信 第100号

北海道今金高等養護学校

〒049-4304

瀬棚郡今金町字今金 454-1

TEL 0137-82-3121 FAX 0137-82-3092



働くことの喜び・幸せ

校長 飯出 広行

第2学期がスタートして、昨年度までは制限されていた教育活動が、「4年ぶり」という言葉のもと展開されています。今金町秋祭りや公開研修会など、町民や外部の方とのふれあいやかわりのある活動が戻ってきています。

さて、先日3年生の前提実習の報告会がありました。3年生は、3年間の集大成にふさわしい態度と報告内容でした。本校のキャリア教育は、1年生の『知る』、2年生の『見極める』、3年生の『決定する』のもと、現場実習や個別実習を実施することで、生徒個々の望む進路への指導を行っています。

生徒個々の報告では、実習の最終目標を「社会に出ても通用する人」、「人として成長する」、「信頼される大人」、「人から任される人」、「共に働きたいと思ってもらえる人」、「素直で人への気遣いができる人」等々、社会人・職業人としての心構えを感じる言葉が聞かれました。

障害者雇用で有名な日本理化学工業株式会社の大山会長が人間の究極の幸せを4つ述べています。1つは『人から愛されること』、2つ目は『人に褒められる』、三つ目は『人に必要とされること』、四つ目は『人の役に立つこと』だそうです。本校の生徒は、現場実習やディアル実習（地域一体型）をとおして、人から感謝される、役に立っているという思いが自己肯定感や有用感を高めるとともに、働くことの喜びを感じることができています。

実習での成果や課題をとおして、学校生活で頑張ることも話されました。「失敗を恐れず何事にも挑戦したい」、「自分のやるべきことを諦めずに頑張る」、「最後までやりきる」、「当たり前のことを当たり前にできるようにする（凡事徹底）」、「安心して仕事を任せてもらえるようになる」等々、どれも大切なことばかりです。卒業までの残りの期間、最後まで意識して生活してほしいと思います。そして、自分の望む進路をつかみ取ってほしいと思います。

保護者の皆様、地域及び関係機関の方々、引き続き本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ

昨年度までの2期にわたり本校のPTA会長を務めていただきました新堂明子様、北海道特別支援教育振興大会顕彰者として表彰されることとなりました。顕彰の理由は、北海道の特別支援教育振興のため長年にわたりPTAや後援会等の役員並びに地域や学校に貢献された方に対して贈られるもので、新堂様は、本校のPTA活動について役員会を中心に活性化を図り、PTA活動に多大な貢献をされたことによるものです。

新堂様、大変おめでとうございます。そして、本校への御理解と御協力、大変ありがとうございます。

3学年前提実習 奮闘中！！

8月28日（月）から3学年は前提実習に入りました。前提実習は事実上の「就職試験」にあたる実習で、福祉的就労2週間（就労移行・A型・B型）、一般就労5週間（ハローワークの福祉窓口経由の就労含む）にわたる長期間の実習となりました。

生徒はすでに個別実習で実習したことのある会社、事業所ということもあり、慣れた環境で各自の良いところを発揮して実習しました。中には体調を崩して実習を休んだり、乗車予定のバスに乗り遅れたりと「小さな」事件はあったようですが、翌日には回復して実習を続け、またバス停から学校と事業所に落ち着いて報告の電話を入れるなど、3年生らしい冷静な対応で乗り越えてくれています。

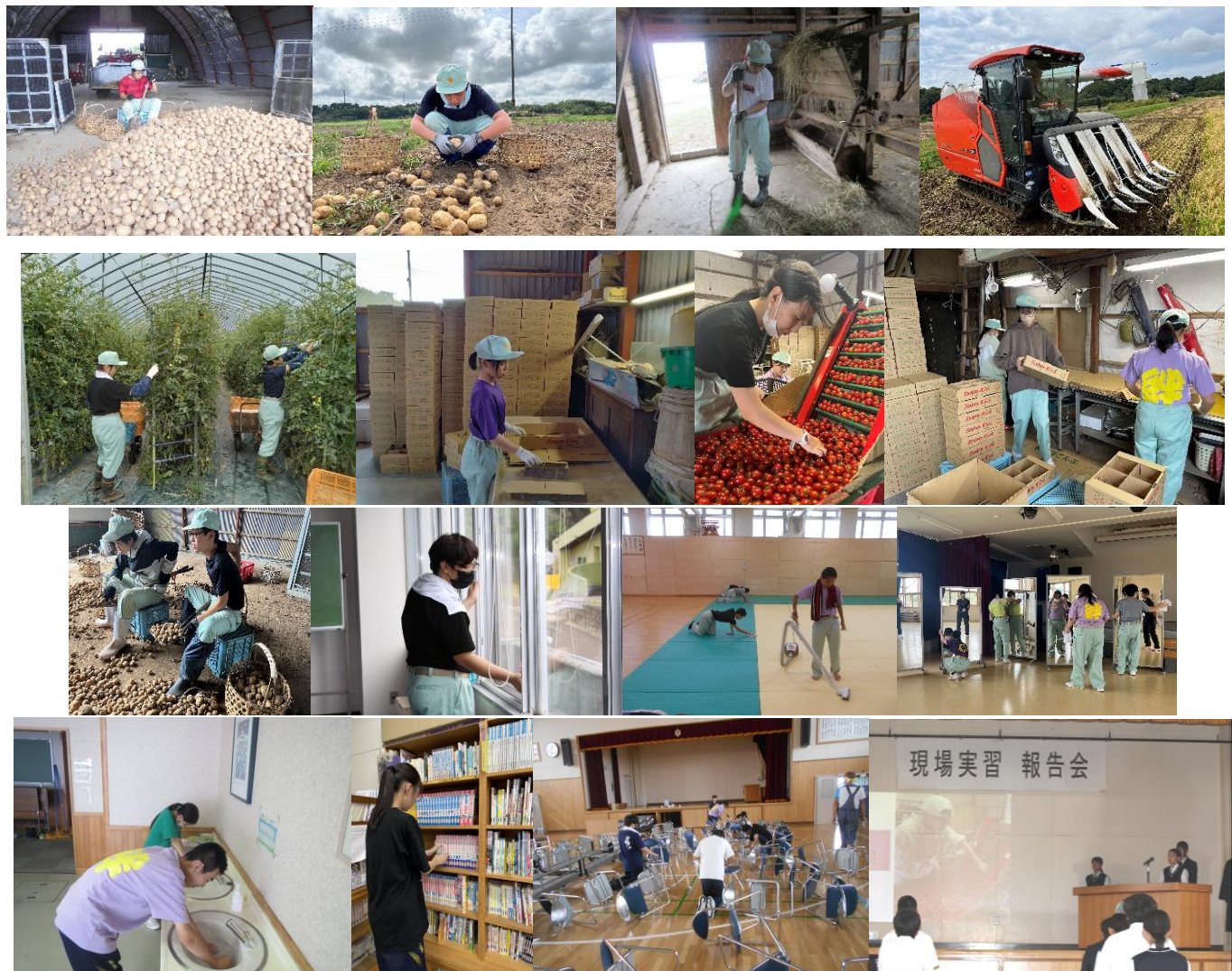
前提実習が終わると最後の学校祭、並行して就労の手続が始まります。一足早く、卒業後に向けた動きにシフトします。毎日の生活を3年生らしく、「立つ鳥跡を濁さず」の気持ちで、後輩のよい手本となるようにしてください。

1 学年現場実習

9月6日（水）から14日（木）までの7日間、町内の4つの農家さん（伊藤ファーム、川上農園、ぴりかファーム、村本農産）の協力を得て現場実習を行いました。

子どもたちは、初めての実習ということもあって、学習スタートから緊張した表情を浮かべていました。学習の中で、事前訪問をさせてもらっていますが、働く場所を見学したり一緒に働く方々と顔をあわせたりしたことで少し緊張は和らいだようでした。

今年の実習は、学校行事の都合もあって校内で実習する場面（食堂、体育館、図書室の清掃）があったり、実習前に施設外清掃（総合体育館、東部ふれあいホール、町民センター）に出かけたりするなど、様々な作業種を経験できたと思います。



実習最終日、作業を終えて学校へ戻ってきた子どもたちは、きっと疲れ切っているだろうと予想をしていましたが、こちらの予想に反して会話が弾みにぎやかな雰囲気になっていたのがとても印象に残っています。やりきったという充実感や満足感などが、にぎやかな雰囲気を作り出したのだと思います。

学習の締めくくりには、実習をとおして得た成果や課題を発表する報告会を行い、「実習で、できたことをこれからも継続していきたい」という発表がありました。継続していくことの大切さを子どもたちに繰り返し伝えながら、次年度の現場実習に向けて生活をさせたいと思います。実習にご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。

2学年作業強化日

9月5日（火）から3日間、2年生になって2度目となる作業強化日がありました。



1度目、2度目の作業強化日の目的は、終日作業をとおして明らかになった課題の解決を図ること、成果を確認し、働くことの意欲を高めることでした。3日間の終日作業ということもあり、疲れも見えましたが、目的を理解し意欲的に取り組むことができました。

2月には、2年生最後となる3度目の作業強化日があります。これは、学習の定着度や自分の成果と課題を再確認し、3年生の前提実習へつながる重要なものになります。

9月の個別実習をとおしてしっかり自分の課題を再確認し、解決への足がかりにしてほしいと思います。

感謝状贈呈

8月21日（月）に株式会社岩橋組様に1学期の体育祭前に行っていたいただいたグラウンド整備、転圧作業に対しての感謝状を贈呈いたしました。岩橋組様には、毎年グラウンド整備等を行っていただき、今年の体育祭当日も非常に良いグラウンドコンディションで行うことができました。本当にありがとうございました。今年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され久々に保護者、来賓も招いて行うことのできた体育祭でした。

8月22日（火）に和工建設株式会社様に6月3日に行っていたいただいた校舎前の除草作業に対しての感謝状を贈呈いたしました。和工建設様にも毎年除草作業を行っていただき、秋にはマラソン大会の運営補助も行っていたいただいております。本当にありがとうございました。

両日ともに、飯出校長、金子教頭、柳生徒会長が訪問し、柳生徒会長より感謝状を贈呈しました。



11月の行事予定

日 時	予 定
3日(金)	・文化の日
8日(水)	・模擬株学習会
15日(水)	・学校祭総練習
17日(金)	・学校祭1部（13：20 下校）
23日(木)	・学校祭2部（13：20 下校）
24日(金)	・学校祭振替休業日
27日(月)	・学校祭後片付け、学科反省会 ・教育実習（～12/15）

こども相談支援センター
相談窓口のお知らせ

- ・ いじめられている...
- ・ 学校に行きたいのに行けない...
- ・ 誰かに聞いてほしい...

そんな時に、相談できる窓口があります。

● 電話相談
0120-3882-56
(無料、毎日24時間対応)

● メール相談
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。